

全米販売台数ナンバーワンの
〈ロイドテーブル社〉



LLOYD 402 ELEVATION TABLES

取扱説明書



この度は、ロイドテーブルをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
このテーブルは、米国 LLOYD TABLE 社（ロイドテーブル社）の高機能・高信頼の製品ですが、取り扱い方法が適切でなければ、製品の機能が発揮できないばかりでなく、予期せぬ事故が起きることもあります。お使いになる前に本書をお読みいただき、十分なご理解のもとに正しい取り扱いをお願いいたします。

- 本書について、ご不明な点がございましたら、当社へお問い合わせください。
- 異常が起こった際は、再度、保守の章を中心に解説をお読みいただき、動作をご確認ください。



ESAKI

ESAKI MEDICAL INSTRUMENT CO., LTD.

はじめに

■安全に正しくお使いいただくために■

この取扱説明書には、安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するため色々な表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- ⚠ **警告** この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- ⚠ **注意** この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■安全のために必ず守ること

ロイドテーブルは操作者と患者の安全性を十分に配慮した設計がなされていますが、安全に正しくお使いいただくために、いくつかの注意事項を記載いたしますので必ず守ってください。

⚠ 警告

- 患者が伏臥位の場合には、腕をアームレストに置き、手がアームレストの内側に入らないように注意してください。
- ドロップを行う時には、患者や施術者の手や身体の一部がクッションとフレームの間に挟まっていないか確認してから操作してください。
- 患者をテーブルに乗せる前に、全てのクッションのドロップを必ず解除（クッションを下げた状態）してください。
- 患者の整復を行う前に、必ず各ドロップのテンションを点検してください（ドロップのテンション調整法は、各部クッションの操作方法をご覧ください）。
- 患者の乗り降りの際には、各クッションの動作（屈曲・回旋・側屈・上下動等）を解除し、クッションを固定してください。
- 骨盤部の高さ調節（下降移動）の際は、必ず骨盤部クッションの前下部を保持しながらロックレバーの操作をしてください（ロックレバーは、クッションの前下部を持ち上げない状態でもロックが解除されます）。

⚠ 注意

- 安全のため、必ず患者のそばについて操作してください。
- 患者がテーブルに乗っている時やテーブルの近くにいる場合は、操作者は患者とテーブルの動きに十分注意を払って操作してください。
- 患者は必ずテーブルの中央部に乗せるようにしてください。
- 施術時の操作は、必ず一人の操作者が行ってください。

■設置上の注意

操作者が正確な施術を行うために、また、患者が安全に乗り降りできるように、確実に設置してください。必ず、接地接続を行ってください。

⚠ 注意

- テーブルベース部の下部4箇所に、テーブルががたつかないようボルトのアジャスターが付いていますので、テーブルが床にしっかり安定するように、ボルトの高さを調節してください。
- 滑りやすい床では、滑りにくいゴム等を敷くなどの工夫をして、テーブルが安定するようにしてください。
- 電源スイッチ、電源プラグの操作の妨げになる場所にものを置かないでください。

⚠ 警告

- 電撃の危険を回避するために、テーブルは、保護接地を備えた電源（商用）だけに接続してください。
- 接地接続は、必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。
また、接地線を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

もくじ

INDEX 402エレベーションテーブル 仕様 1

1 各部の機能と操作方法 2

ヘッドクッションの機能と操作 2

ヘッドレストペーパーについて 3

チェストクッションの機能と操作 4

ドロップ操作について(1) 5

ペルビッククッションの機能と操作 6

アングルレストの機能と操作 7

ドロップ操作について(2) 8

2 テーブルの高さ調節 9

3 電源スイッチとヒューズ 9

保守点検と保証・アフターサービス 10

INDEX

■402 エレベーションテーブル 仕様



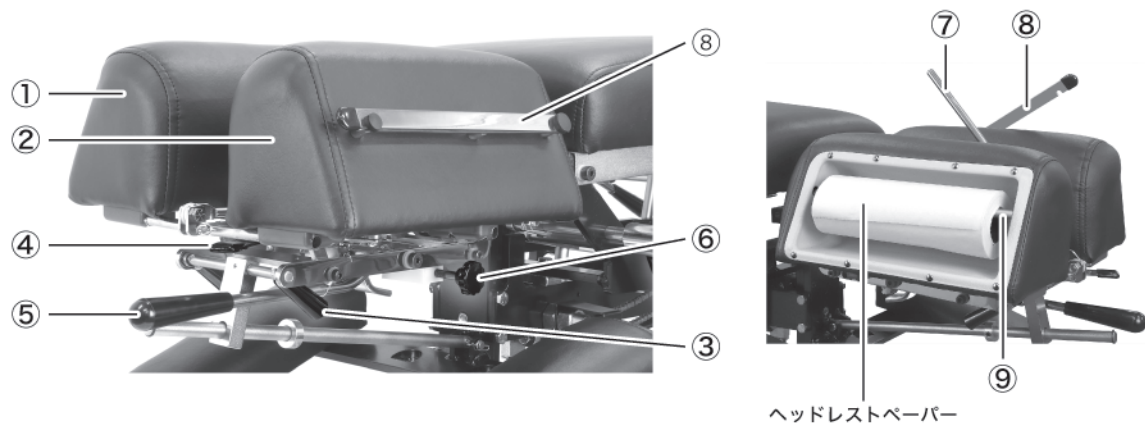
項 目		仕 様
最大外形寸法	長さ(最小/最大)	1 5 7 5 mm / 1 9 0 5 mm
	幅	約 5 6 0 mm
	高さ	4 6 0 ~ 9 6 0 mm
重 量		約 1 1 0 kg
電 源		AC 1 0 0 V 5 0 / 6 0 Hz 7 2 0 VA

1

各部の機能と操作方法

■ヘッドクッションの機能と操作

【図1】

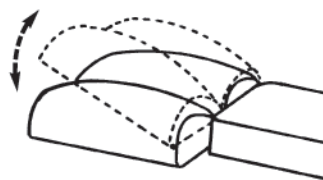


記号	名 称	機 能
①	ヘッドクッション (右)	—
②	ヘッドクッション (左)	—
③	屈曲解除レバー	ヘッドクッションの屈曲角度を下げる時に使用するレバーです。
④	ヘッドクッション 開閉レバー	このレバーをスライドさせることにより、 左右のクッションが8段階の間隔で開閉します。
⑤	ドロップレバー	ドロップを使用する時、クッションを上げ、 セットするためのレバーです。
⑥	ドロップテンション 調整ノブ	ドロップのテンションはこのノブで調節します。 (テンションの強弱は脚部方向で強く、頭部方向で弱くなります。)
⑦	センターバー	ヘッドレストペーパーがずれないように押さえるバーです。
⑧	ペーパーカッター	ヘッドレストペーパーをカットするものです。
⑨	ペーパーホルダーバー	ヘッドレストペーパーを保持するものです。

●ヘッドクッションの位置調節

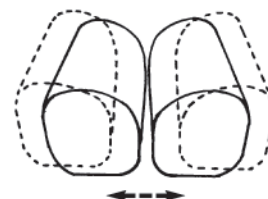
前部 (先端) の上下操作 【屈曲動作】

ヘッドクッションの先端を持ち上げるだけで、自由な角度に調整できます。下げるには、ヘッドクッションの先端を持ち上げ、③の屈曲解除レバーを上げてロックを外し、ゆっくり下げてレバーを放して止めます。



左右クッションの開度調節 【開閉動作】

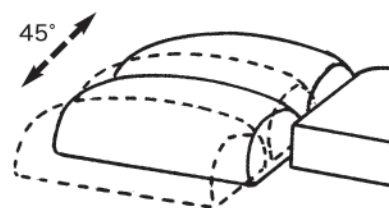
④ヘッドクッション開閉レバーを下へ押しながら、左右にスライドさせると、左右クッションの間隔が調節できます。レバーは8点のストップ位置があり、8段階の間隔で開閉できます。



●ドロップ操作

前方 45° へのドロップ

⑤のドロップレバーを下げることで、クッションが上がり、前方45°のドロップがセットされます。



警告

事故防止のためドロップ操作をする前に必ずテンションを点検してから治療を行ってください。



注意

テーブルを使用しないときは、ドロップを解除（クッションを下げた状態）してください。

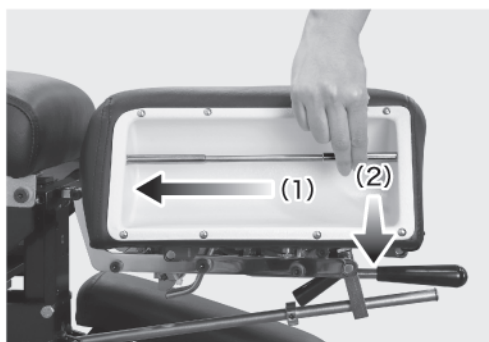
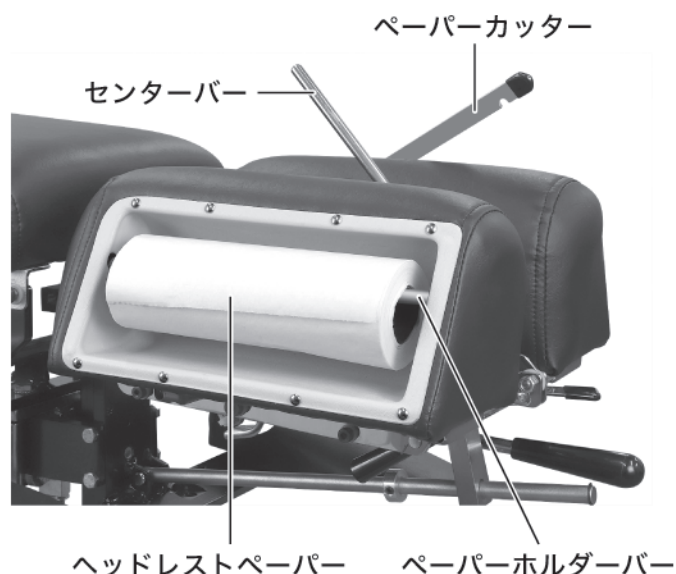
●ヘッドレストペーパー

【新しいロールの取り付け方法】

ペーパーホルダーバーは、横に押し付けるようにスライドさせ、手前に引くと外すことができます。（下の画像を参照）

外したホルダーに、新しいロール紙を入れ、元の位置に戻します。

紙を引き出します。両側のクッションの間はセンターバーを下げて紙を押さえ、引き出した紙の先端部を、ペーパーカッターの上へ来るように置いたら、ペーパーカッターを下げて、紙の余分な部分をカットしてください。



ペーパーホルダーバーは、横に押し付けるようにスライドさせながら(1)、手前に引く(2)と、取り外せます。



ヘッドレストペーパーは、江崎器械株式会社にて販売しております。お問い合わせは下記へ。

江崎器械株式会社／お客様窓口
TEL.0120-880-497

ペーパーは、エサキネットショップからも、ご購入いただけます。



■チェストクッションの機能と操作

【図2】



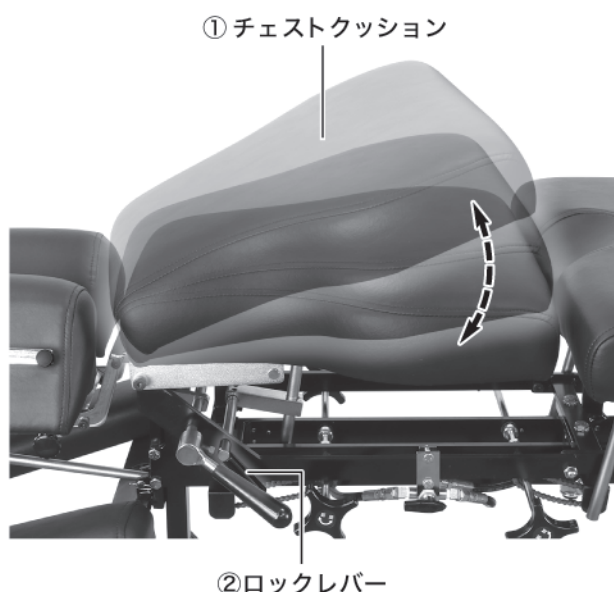
記号	名 称	機 能
①	チェストクッション	—
②	ロックレバー	クッションを上下させて高さを調節する時、このロックレバーを上げるとロックは解除され、クッションの前部を支点として後部を上下できます。
③	ドロップレバー	胸部ドロップを行う時に、チェストクッションを上げてセットするためのレバーです。
④	セレクトーノブ	ドロップを行うクッションを選択します。 ※チェストクッション、ペルビッククッション共用
⑤	ドロップテンション調節ノブ	チェストドロップのテンション(強さ)をこのノブで調節します。 足方向に回すと強く、頭方向に回すと弱くなります。
⑥	頭部クッション ドロップテンション調節ノブ	頭部ドロップの強さを調節するノブです。

●チェストクッションの位置調節

【高さ調節】

前部を支点として後部の高さを調節します。

- 伸展移動：①チェストクッションの後部を持ち上げ、希望の位置で手を放すと、その位置に高さを固定できます。
- 屈曲移動：①チェストクッションの後部を少し持ち上げ、②ロックレバーを上へ押し上げ、ロックを外すとクッションを降ろすことができます。



ドロップ操作について (1)

●手動のドロップ操作 ※ドロップなしタイプを除く

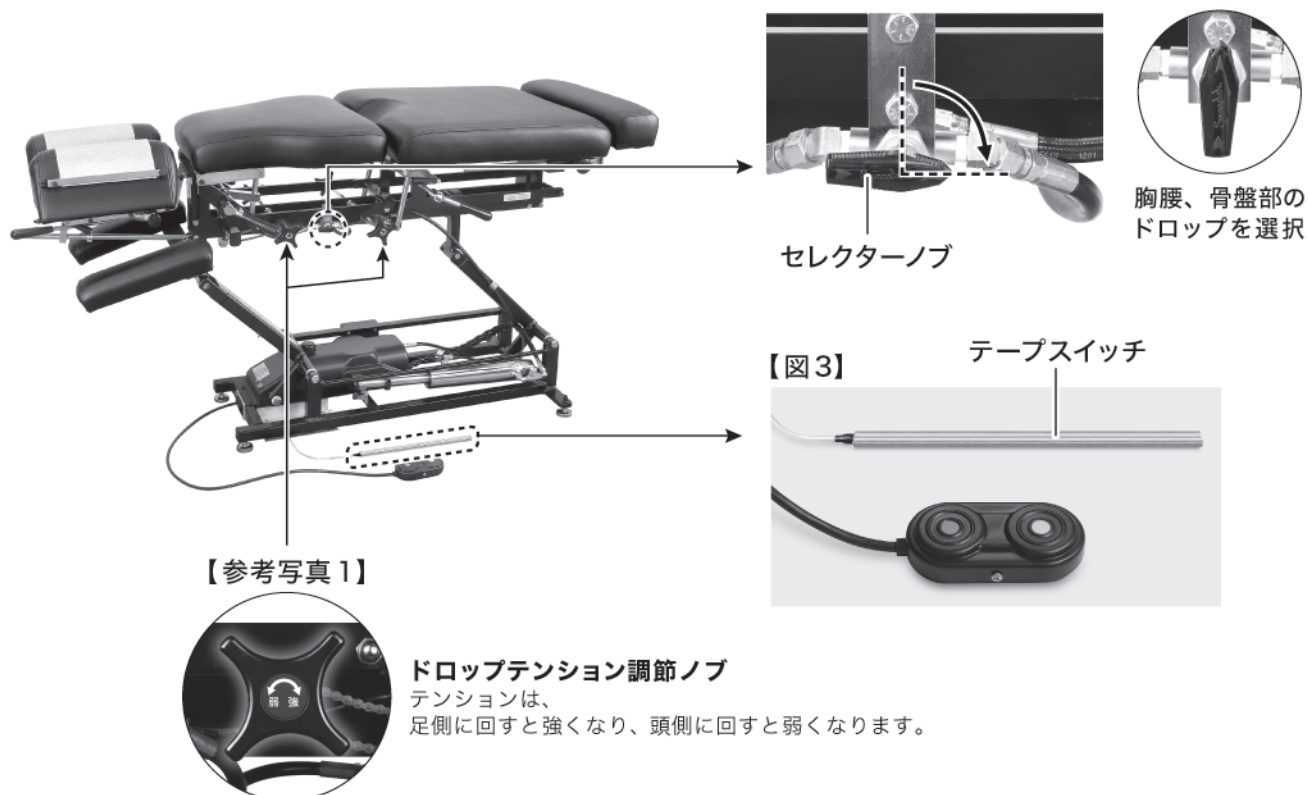
4 ページ図 2 の③ドロップレバーを引き上げてセットし、⑤ドロップテンション調節ノブで、テンション(強さ)を調節してドロップ操作を行います。

※ドロップのテンションの(強さ)は、テンション調節ノブを足側に回すと強くなり、頭側に回すと弱くなります。(参考写真1)

●自動のドロップ操作 ※ドロップなしタイプを除く

図 2 の④セレクトーノブを時計方向に回し、ペルビッククッションの骨盤部ドロップを選択します。 ※チェストクッションの胸腰部ドロップとペルビッククッションの骨盤部ドロップのすべてを選択する場合はセレクトーノブの先端を上方に向けてください。図 3 の自動ドロップ装置のテープスイッチを使って油圧でドロップをセットします。

※ドロップのテンション(強さ)は、調節つまみを足側に回すと強くなり、頭側に回すと弱くなります。(参考写真1)



警告

事故防止のためドロップ操作をする前に必ずテンションを点検してから治療を行ってください。

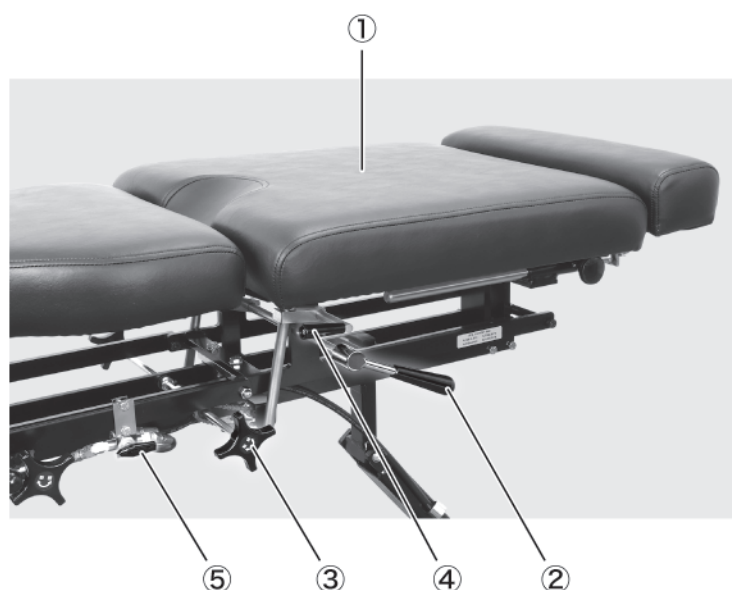


注意

テーブルを使用しないときは、ドロップを解除(クッションを下げた状態)してください。

■ペルビッククッションの機能と操作

【図4】



記号	名 称	機 能
①	ペルビッククッション	—
②	ドロップレバー	骨盤部ドロップを行う時に、ペルビッククッションを上げてセットするためのレバーです。
③	ドロップテンション調節ノブ	骨盤部ドロップのテンション(強さ)をこのつまみで調節します。足方向に回すと強く、頭方向に回すと弱くなります。
④	ロックレバー	このレバーを上げるとロックが解除され、クッションの後部を支点として上げたクッションを降ろすことができます。レバーを放すとクッションを任意の位置でロックすることができます。
⑤	セレクトーノブ	ドロップを行うクッションを選択します。 ※チェストクッション、ペルビッククッション共用

●ペルビッククッションの位置調節

【高さ調節】

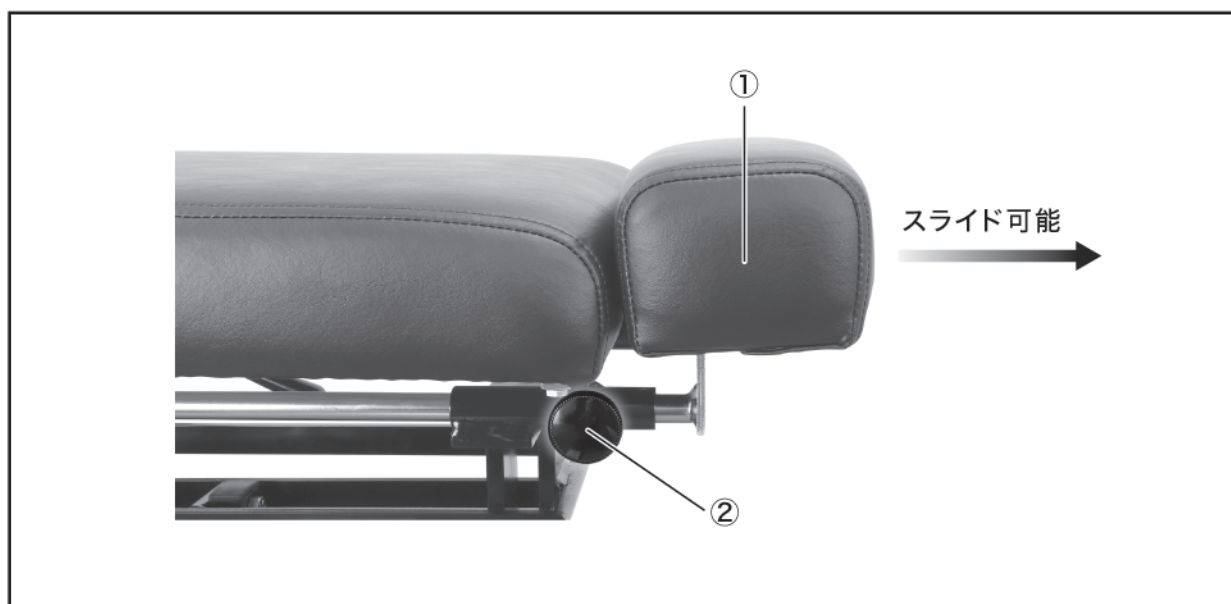
後部を支点として前部の高さを調節します。

- 上昇移動：①ペルビッククッションの前部を持ち上げ、希望の位置で手を放すと、その位置に高さを固定できます。

- 下降移動：①ペルビッククッションの前部を少し持ち上げ、④ロックレバーを上へ押し上げ、ロックを外すとクッションを降ろすことができます。



■ アンクルレストの機能と操作



記号	名 称	機 能
①	アンクルレスト	—
②	固定つまみ	アンクルレストが移動しないように固定します。 移動させる時は、これを緩めます。

●長さ調節

②の固定つまみを緩めると、水平方向にアンクルレストがスライドでき、長さを調節することができます。任意の位置で止め、固定つまみを締めてください。

ドロップ操作について (2)

●手動のドロップ操作

4 ページの図 2 の ③ドロップレバーを引き上げてセットし、⑤ドロップテンション調節ノブで、テンション(強さ)を調節してドロップ操作を行います。

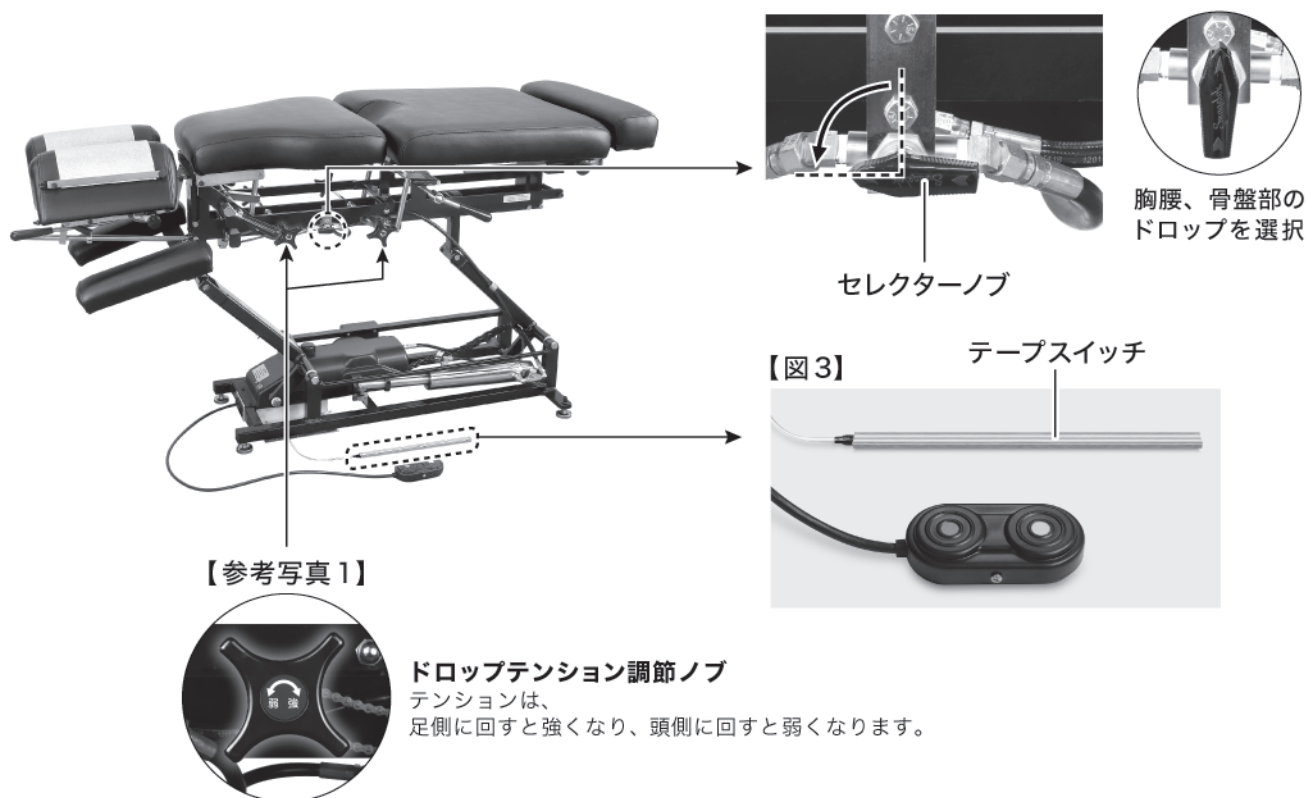
ドロップのテンション(強さ)は、テンション調節ノブを足側に回すと強くなり、頭側に回すと弱くなります。(参考写真1)

●自動のドロップ操作

図 2 の④セレクターノブを反時計方向に回し、チェストクッションの胸腰部ドロップを選択します。
※チェストクッションの胸腰部ドロップとペルビッククッションの骨盤部ドロップのすべてを選択する場合はセレクターノブの先端を上方に向けてください。

図 3 の自動ドロップ装置のテープスイッチを使って油圧でドロップをセットします。

※ドロップのテンション(強さ)は、調節ノブを足側に回すと強くなり、頭側に回すと弱くなります。(参考写真1)



警告

事故防止のためドロップ操作をする前に必ずテンションを点検してから治療を行ってください。



注意

テーブルを使用しないときは、ドロップを解除(クッションを下げた状態)してください。

2 テーブルの高さ調節

■402 エレベーションテーブル

エレベーションテーブルの高さ調節は、昇降ペダルの操作により電気モーターで作動します。

●手動ドロップの操作

- 上昇移動：図4の昇降ペダルの ①オレンジ色（コード側）を押さえると、テーブルは上昇します。押さえている間、上昇を続けます。希望の高さになったら、放すと停止します。
- 下降移動：図4の昇降ペダルの ②黄色（ペダルの先端側）を押さえると、テーブルは下降します。押さえている間、下降を続けます。希望の高さになったら、放すと停止します。



3 電源スイッチとヒューズ

●電源スイッチ

電源スイッチは、油圧モーターの電源オン・オフ用です。使用しない時は、危険防止のため、電源をオフにしてください。

⚠ 注意

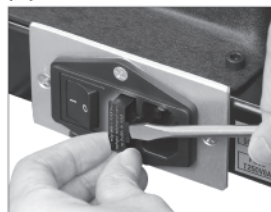
電源スイッチの損傷を防止するため、スイッチをオフの状態ですべての電源プラグをコンセントから着脱されることをお勧めします。



●ヒューズ及びヒューズボックス

電源スイッチと電源プラグの間に、ヒューズボックスがあります。ヒューズ交換の際は、まず電源プラグを抜き、図Aのように、ドライバーやボールペン等、先の細い物をヒューズボックスの右横から差し込み込んでボックスを手前に引き出し、図Bのようにヒューズを取り出してください。

図A



図B



保守点検と保証・アフターサービス

【定期点検】

ロイドテーブルがその最高の性能を維持し、長期間にわたって円滑にお使いいただくため、定期的に下記の点検と保守作業を行ってください。

【クッションの汚れ】

クッションについた汚れは、水または中性洗剤をつけた柔らかい布で拭き取ってください。

【金属部分】 定期的にクリーナーなどで洗浄し外観を維持するようにしてください。

【潤滑油の注油】 回転部、スライド部等にグリスまたはスプレーグリスを塗布してください。

【保証】 ロイドテーブルの無償保証期間は1年間です。

【保証書】 保証書をお受け取りになったら、内容を確認していただき大切に保管してください。

【保証期間中の修理】

万一、故障が起きたときは、保証書に記載されている内容に従い無償にて修理いたします。故障の内容(状況)をできるだけ詳しく調べていただき、保証書番号またはテーブル製造番号と共に、当社までご連絡ください。

【保証期間後の修理 及び ご使用後の廃棄処理】 当社までご連絡ください。

【保証書番号と製造番号の記載位置について】

保証書

この保証書は、保証期間中に発生した故障の修理に限り有効です。保証期間外に発生した故障の修理は有料となります。保証期間中に発生した故障の修理は、保証書に記載されている内容に従って行われます。

江崎器械株式会社 TEL:075-952-1553 FAX:075-953-1399

保証書番号	
品名	
製造番号	
社名	
住所	
電話番号	
代表者	
担当者	
部署	
役職	
氏名	
住所	
電話番号	
代表者	
担当者	
部署	
氏名	

江崎器械株式会社 LLOYD MEDICAL INSTRUMENT CO., LTD.
〒617-0833 京都府長岡京市神足下八ノ坪44-2 TEL:075-952-1553 FAX:075-953-1399

保証書番号は、
保証書の最上部に
記載されています。

製造番号は、
保証書の上から
3行目に記載され
ています。



製造番号は、テーブルの腰部
クッションの下に貼り付けら
れているラベルで確認するこ
ともできます。

連絡先

江崎器械株式会社

〒617-0833 京都府長岡京市神足下八ノ坪44-2 Tel.075-952-1553 Fax.075-953-1399